

InterSystems公式
[Toshihiko Minamoto](#) · 2022年3月21日

InterSystems Kubernetes Operator 3.3 が公開されました

InterSystems Kubernetes Operation (IKO) バージョン 3.3 が [WRC ダウンロードページ](#) や InterSystems Container Registry よりダウンロード可能になりました。

IKO は、使いやすい irisCluster リソース定義を提供することにより、Kubernetesにおける InterSystems IRIS や InterSystems IRIS for Health の連携を簡便にします。簡単なチュートリアル、ミラリング、ECP構成などの機能一覧は [ドキュメント](#) をご覧ください。

IKO 3.3の主な変更点:

- InterSystems IRIS、IRIS for Healthのバージョン 2021.2、2022.1 のサポート
- Kubernetes 1.21のサポート
- irisCluster の一部として共通のSystem Alerting and Monitoring (SAM) コンフィギュレーションのデプロイ
- irisCluster の一部として InterSystems API Manager (IAM) のデプロイや管理
- ミラリングのアクティブ側の自動タグ付けにより、サービスは常にアクティブなミラメンバを指すことができます。

[#Kubernetes](#) [#コンテナ](#) [#InterSystems IRIS](#) [#InterSystems IRIS for Health](#) [#InterSystems公式](#)

ソースURL: <https://jp.community.intersystems.com/post/intersystems-kubernetes-operator-33-%E3%81%8C%E5%85%AC%E9%96%8B%E3%81%95%E3%82%8C%E3%81%BE%E3%81%97%E3%81%9F>